

ガングコ親父の

隣に住む爺さんの家から子犬の声が聞こえてくるが、どうも最近犬を飼ったらしい。評判の悪い爺さんの性格では犬にも好かれないうらと思っていたが、案の定、その白い犬は主人に慣れようと思わなかった。腹を立てた爺さんは、芸を覚えるどころか飼主の言うことさえ聞こうとしないその子犬を責め立てた。

ある日、子犬は泣きながら松次郎の庭に逃げてきた。心配した松次郎夫婦は、相談の上、その白い子犬を借り受けることにした。

人間不信に陥っていた子犬だったが、松次郎達の愛情ですぐに回復し、元気に散歩をするようになった。ある日公園を散歩させていると、急に子犬が走り出し、植え込みの近くでワンワンと吠えた。茂みの奥を覗くと、紙片が落ちていた。よく見るとドリームジャンボ宝くじ券だった。

正直者の松次郎は近所の交番に拾った宝くじ券を届け出た。三ヶ月経っても落とし主が見つからなかったため、やがてその宝くじ券は松次郎のものになった。しかも、驚いたことにそれが三等に当たっていることがわかり、二人で子犬を抱き上げて喜んだ。その賞金は孫の大学受験のための資金に回した。

どこでその話を聞きつけたのか、子犬のオーナーである隣の欲張り爺さんが訪ねてきた。「その犬はうちでもう一度飼うようにしたので、悪いけど、連れて行くよ」と、強引に連れ帰ろうとした。子犬は「放さんかじい」といつになく品のない言葉で抵抗したが無理だった。

早速、欲張り爺さんは犬の探知能力に期待して、「下を向いて歩こう」を回さみながら、子犬を散歩に連れ出した。すると、子犬はワンワン吠えながら急に駆け出した。おお、財布でも見つけたかなど喜ぶ間もなく、いきなり子犬に引かれた爺さんは石段につまづき倒れてしまった。足を骨折し、重症。この白い子犬を飼っても、良いことなどひとつもなかった。結局、欲張り爺さん達は、子犬を手放すことにしたのだ。所有者ではない松次郎夫婦はどうすることもできなかった。

それから数年後の春、受験生だった孫の手元に「サクラサク」の通知が届いた。孫は学費まで援助してくれる松次郎にお礼を言った。「合格はお爺ちゃんのおかげだよ。これからお爺ちゃんのことを『花咲かお爺さん』と呼ばないといけないよね」と言っ合格通知書を広げ……

「お父さん、お風呂に入るんですよ」と妻の貴代から肩を揺すられて、松次郎は目を覚ました。夕食後、テレビの前でいつものように寝込んでしまっていたのだ。東京の桜は満開で、見頃は今週末だと女性キャスターが言うところまでは憶えている。今の夢は花咲か爺さんみたくだったな。グラスに残っていた『しまっちゅ伝蔵』をぐいっと飲み干し、テレビに目をやるといつもCMに出てくるあの白い犬が人の言葉を喋っていた。「放さんかじい」を思い出して、松次郎は含み笑いをした。「なんですか、ニヤニヤして気持ち悪っ」と貴代は立ち上がった。



奄美黒糖焼酎
常圧蒸留
伝蔵
でん ぞう

昔ながらの手造り
こだわり焼酎
常圧蒸留
喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12
TEL 0997(65)0251

好評発売中
25度

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造はこの活動を応援しています。



「花咲か爺」に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。